

無謀！原発再稼働

大飯原発
3、4号機

あの保安院が“安全対策”とは

野田首相は3人の閣僚と大飯原発3、4号機の再稼働問題で初めて協議を行い、「暫定基準」を設けることで再稼働強行の姿勢をあらわにしました。しかし「暫定基準」は1、2日で作成。つくるのは福島原発事故を引き起こした「A級戦犯」で「やらせ」の原子力安全・保安院。これで原発の安全は保証できません。



大飯原発3、4号機
(関電ホームページより)

科学的判断こそ。「政治判断」など論外

野田首相は、再稼働は「政治判断」で行うとっています。しかし再稼働の是非は、安全性に関する科学技術的な判断で決められるべきです。福島事故の原因も原子炉の中がどうなっているかも分からず、なぜ安全といえるのでしょうか。

ストレステストで安全確認できない

再稼働はストレステストの結果を踏まえて判断する、とされていますが、経産大臣も原子力安全委員長も“テストをもって安全性の保証にはならない”とっています。

8割が「安全審査不十分」

政府の大飯原発の安全審査を十分だと思うか
十分だ10%
(男性15%女性6%)
十分でない84%
(男性81%女性87%)
(「毎日」4月2日付)

大飯原発の待避圏に45万人

政府は、原発から50キロ圏内を防災重点区域にして対策をとしています。大飯原発の50キロ圏には京都、滋賀、福井の3府県、15市19町に45万人が住んでいます。しかし避難計画はまったく決まっています。再稼働は余りにも無謀です。

悪政ストップへ全力をあげます

日本共産党

〔近畿比例〕



こくた 恵二
党国対委員長



宮本 たけし
衆院議員1期



清水 ただし
党大阪府副委員長



堀内 照文
党兵庫副委員長

日本共産党は衆院比例
近畿ブロック予定候補
(左の4人)を先頭に
全力をあげます。

折り目

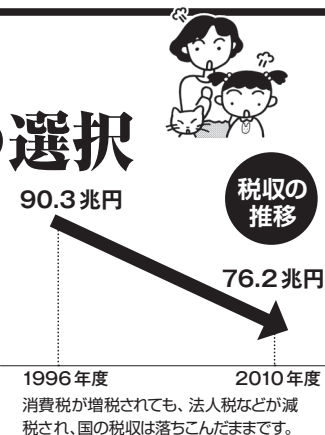
暮らし、経済、財政壊す

消費税増税法案 廃案に

年間負担13.5兆円

先のない最悪の選択

野田内閣が閣議決定した消費税増税法案。消費税10%への引き上げで、年間の負担増は13兆5000億円にも。暮らしがこんなに大変なとき、ひどすぎます。こんな負担を押し付ければ、景気と経済をいっそうの危機に陥れ、他の税収が大きく落ち込んで財政もさらに危機的になります。しかも社会保障は削減ばかり。暮らしも経済も財政も壊す、先行きのない最悪の選択です。



消費税なしで財政再建できる

「引き上げなし」の選択を

日本共産党は、消費税に頼らず①ムダの一扫と能力に応じた税負担（応能負担）をつらぬいた税財政改革で財源を確保し、社会保障を充実②国民の所得を増やす経済改革——この二つを同時並行で進め、財政危機も打開するという「提言」を発表しています（裏面をご覧ください）。この対案を掲げて増税法案の廃案へがんばります。

日本共産党

近畿民報

発行／日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2012年4月号外 No.1

F540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。